

全国の舞台で力を発揮した中学生力士たち



西根第一中学校相撲部員【後列左から佐藤海渡君(1年)、田村渉君(2年)、中村優弥君(2年)、松浦和啓君(1年)、前列左から松浦健太君(3年)、長内龍君(1年)、津志田亜睦君(2年)、松浦裕介君(3年)】

全国中学校体育大会 相撲競技 団体準優勝 西根第一中学校相撲部

8月17、18の両日、岐阜県・岐南町スポーツセンターで開催された平成25年度全国中学校体育大会の相撲競技団体戦で、西根第一中学校の相撲部が県勢初の準優勝という輝かしい結果を収めました。

部員は8人。団体戦は3人で行われますが、出場選手の身の回りの世話をその他の部員が進んで行うなど、チーム一丸となって勝ち取った準優勝です。

主将の松浦裕介君(3年)は大会を振り返り、「これまでの稽古の成果を出し切れました。準優勝という結果に悔しさもありますが、それよりも次に向かうきっかけになりました」と、爽やかな笑顔で語ります。

監督を務める須藤誠教諭は、「選手たちに緊張している様子はありませんで



稽古中は相撲場内に体のぶつかり合う音が響きます

た。これまで、先輩に付いていき、全国大会の雰囲気を知っていたからで、部としてのつながり、継続の力が実を結んだと思います」と、目を細めます。

「部員全員が、コーチや家族などの支えがあつてこそその結果だと思っっています。僕も母と姉に感謝しています」と、はにかむ松浦君。平成28年に迎える国体の相撲競技が本市で開催されることについて、「主力メンバーに入り、地元優勝を目指したい」と、3年後の目標を熱く語りました。



子どもも輪に加わって踊りました

今月の表紙 鮮やかな舞、祭りを彩る

第8回市夏まつりが8月15日、松尾総合運動公園で開かれました。【関連12頁】祭りでは、市内のさんさ踊り愛好家らが大きな輪を作り、太鼓の音に合わせて、「栄夜差踊り」「福呼踊り」などを披露。編み笠などの衣装を身に付けた踊り手や飛び入りの参加者も輪に加わり、祭りは大いに盛り上がりました。

編集後記

市夏まつりで、花火の写真を撮影しようと思気込み、昨年と違う機種のカメラを使用。しかし、事前の確認が足りず、操作するのにあたふたしてしまい、前半部分の花火がうまく撮れませんでした。残念な思いをしたとともに、準備の大切さをあらためて感じました。▽9月は3連休が2週続き、敬老会やスポーツ大会など、多くのイベントが開催されます。各催し物に、ぜひ足を運んでみてください。(佐々木)